

Takara standard

「Study : 大阪関西国際芸術祭 Vol.3」に協賛
サステナブルなホーロー看板を提供

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、株式会社アートローグ（本社：大阪市北区、代表取締役 CEO：鈴木大輔）が 2023 年 12 月 23 日（土）～28 日（木）に開催する「Study : 大阪関西国際芸術祭 Vol.3」に協賛し、ホーローで制作した宣伝看板を提供します。

タカラスタンダードは、「高品位ホーロー」の認知度と可能性をさらに高めるとともに、アーティスト支援による社会貢献活動を目的とした「ホーロー×アートプロジェクト」を 2022 年よりスタートしました。

その一環として、2023 年 1 月に「Study : 大阪関西国際芸術祭 2023」へ初めて協賛しました。アート×ヒト×社会の関係性を検証し学ぶという同イベントの趣旨に賛同し、本年も協賛が決定。

「Study:アート&クリエイティブフェア」の会場であるグランフロント大阪に掲示される看板を、当社独自のホーローインクジェット印刷で制作し、提供します。

Study:

Study:大阪関西国際芸術祭

Study: Osaka Kansai International Art Festival Vol.3

2023.12.23 Sat ————— 2023.12.28 Thu

「高品位ホーロー」は、鉄の丈夫さとガラスの美しさを兼ね備えた独自素材で、清掃性が高く、耐久性にも優れています。何年経っても色褪せることがないので、多くの人々が利用する公共の場に設置される看板には最適な素材です。従来内装材として取り扱っていますが、今回特別に同イベント向けに看板を制作しました。マグネットが付くという特性を生かし、壁に穴などを開けることなく、掲載できます。また、次回以降も繰り返し、長年にわたって使っていただくことができます。ホーローの新たな可能性を感じていただけるサステナブルな看板です。

タカラスタンダードは、これからも独自のホーロー技術を通じてより多くの人により心地よい暮らしをお届けすると共に、ホーローを通じた社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

<ご参考> Study : 大阪関西国際芸術祭とは

「Study : 大阪関西国際芸術祭 vol.3」(以下、本芸術祭)は、2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)を契機に、ソーシャルインパクト(文化芸術経済活性化や社会課題の顕在化など)をテーマとした世界最大級のアートフェスティバル「大阪関西国際芸術祭(仮)」の開催をめざすにあたり、それらの実現可能性を検証するためのイベントです。2022 年 1 月にスタートしたプレイベントは、今回が第 3 回目の実施となります。本芸術祭では、テーマであるソーシャルインパクトの視点から、「アートとヒト」「アートと社会」との関係性や、アートの可能性を「Study(検証し学ぶ)」するプロセスを重ねながら、2025 年本開催となる「大阪関西国際芸術祭」の価値最大化をはかっていきます。 <https://www.osaka-kansai.art>

<タカラスタンダードとは>

1912 年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立 : 1912 年 5 月 30 日(創業 111 年) / 売上高<連結> : 2,274 億円(2022 年度) / 従業員数<連結> : 6,445 名(2023 年 3 月末時点)]